

京都市感染症週報

◆ 今週のコメント

- ・RSウイルスの定点当たり報告数は0.51(21例)で、先週と同じく、平成15年(11月)に五類感染症の対象となつて以来、最も多い値となっています。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は14.63で、11月以降、顕著に増加しており、過去5年平均値(13.04)を上回る本年度で最も多い値となっています。
- ・水痘の定点当たり報告数は1.71で、過去5年平均値(1.55)を上回る値となっており、先週(0.88)と比べ顕著に多くなっています。年齢階級別にみると、1歳が最も多く、30.4%を占めています。
- ・アメーバ赤痢の報告が3例(第49週追加分を含む)あります。本年の累積報告数は21例で、過去7年間(平成12年～18年)の年報告数(6～18例)と比べて、最も多くなっています。性別は、男16例、女5例で、病型別にみると、腸管アメーバ症 19例、腸管外アメーバ症 2例となっています。推定感染経路は、経口6例、性行為3例、不明12例です。推定感染地域は、国内での感染が16例で、76.2%を占めています。

◆ 今週のトピックス:〈インフルエンザ〉

- ・定点当たり報告数は1.22(83例)と、流行開始の指標として使用されている1.0を超える値となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 麻しんの発生件数の把握について

- ・市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告は、今週はありませんでした。これまでの累積件数については、別紙に掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・二類:結核 3例(喀痰塗抹陽性 1例)【4月以降の累積報告数 318例(喀痰塗抹陽性 92例)】
- ・四類:A型肝炎 1例
- ・四類:レジオネラ症(肺炎型) 1例(第49週追加分)
- ・五類:アメーバ赤痢(腸管アメーバ症) 3例(第49週追加分含む)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.22	83
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	14.63	600
	② 水痘	1.71	70
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.07	44
	④ RSウイルス感染症	0.51	21
	⑤ 突発性発しん	0.37	15
眼科	流行性角結膜炎	0.40	4

病原体情報

(検体名は、紙面の都合上、咽頭ぬぐい液をNP、糞便をFC、髄液をSF、尿をURと略す。)

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検体名
エコーウイルス30型(1)	不明(第47週)	FC	ノロウイルスGI(1)	感染性胃腸炎(第48週)	FC
RSウイルス(2)	感染性胃腸炎(第47週) かぜ症候群(第48週)	NP	ノロウイルスGII(4)	感染性胃腸炎(第47～49週) リンパ節炎・唾液腺炎(第48週)	FC

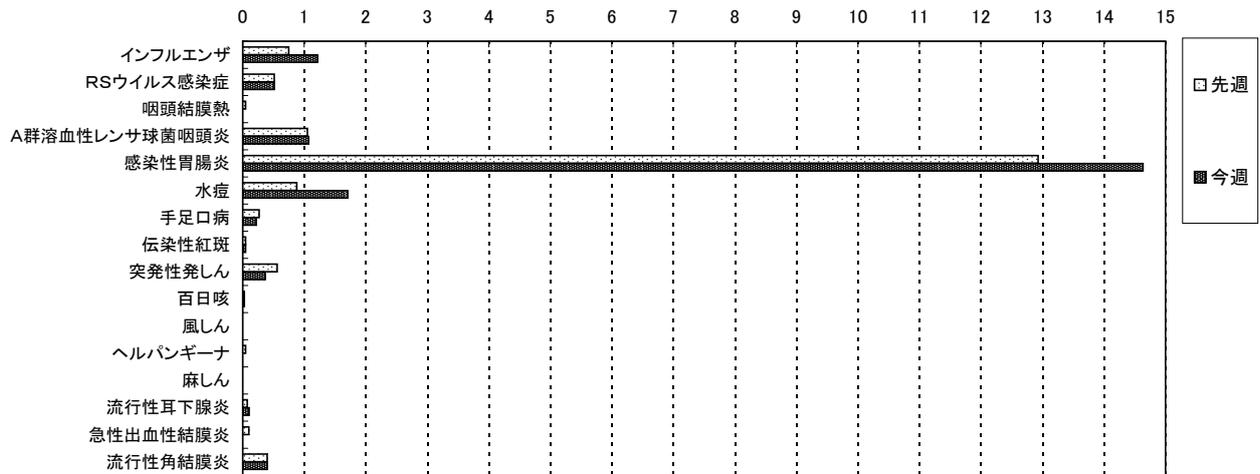
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈インフルエンザ〉 / 京都市麻しん全数発生報告付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

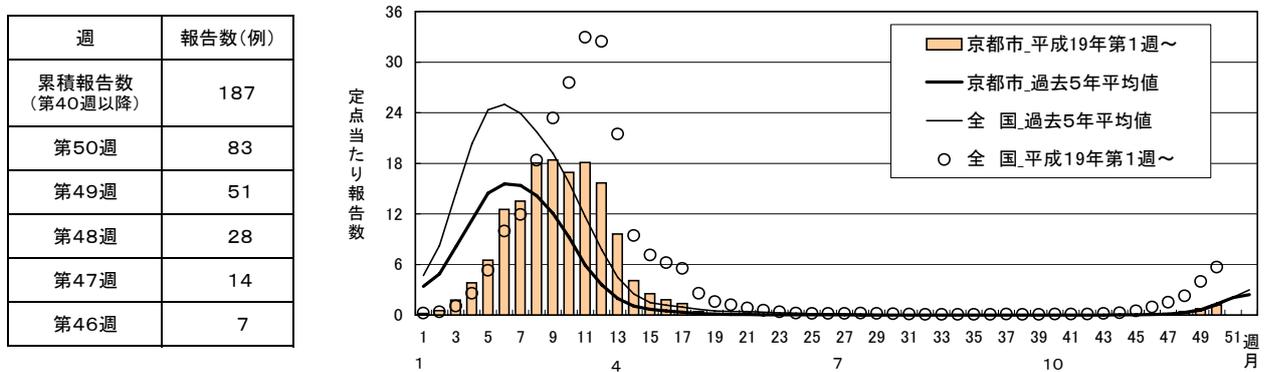
(注)京都市のデータは、平成19年12月21日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。また、本情報での患者数は、届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。病原体情報は、病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第50週)と先週(第49週)の定点当たり報告数の比較

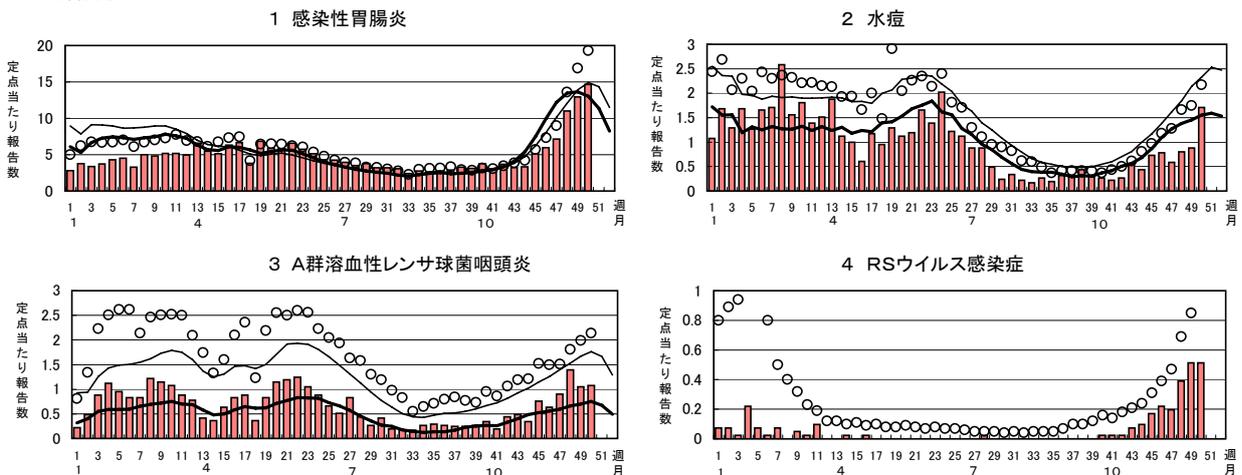


2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移



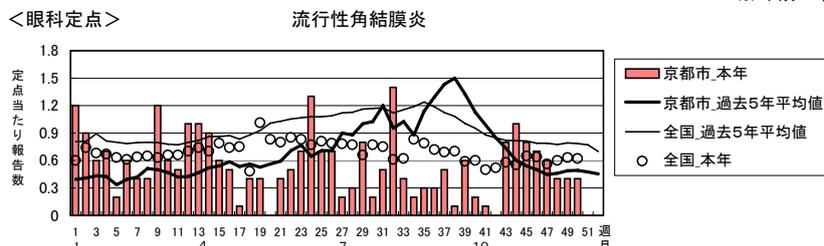
3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



※ 平成15年からの追加疾患のため、過去5年平均値はありません。

<眼科定点>



今週(第50週)のトピックス: <インフルエンザ>

本市の定点当たり報告数は1.22(83例)と、流行開始の指標として使用されている1.0を超える値となっています。全国では、すでに第47週に1.0を超えて以降、過去5シーズンの平均を大きく上回る状態で増加しています。

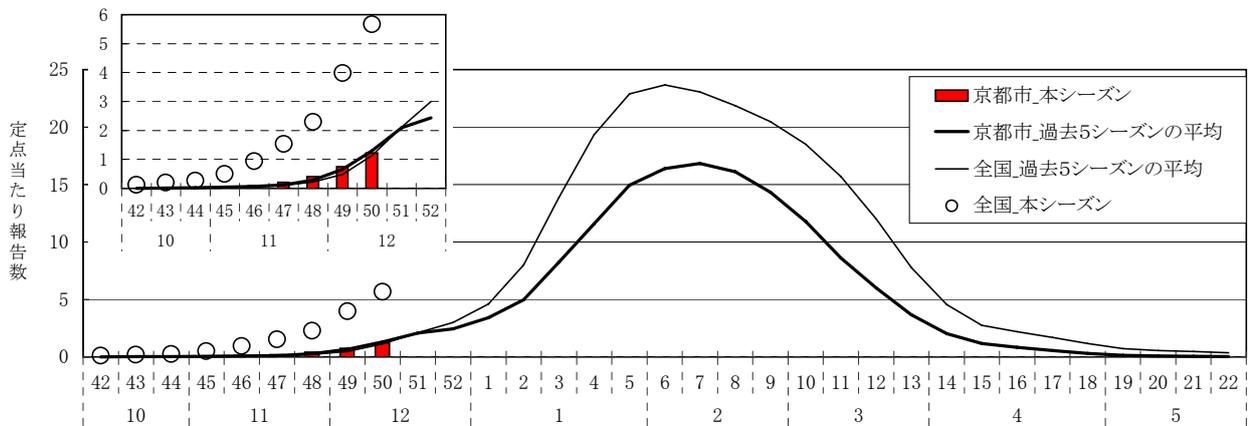
本シーズンを含む過去6シーズンで、1.0を超えた週の時期をみると、第49週～翌年第3週の間であり、本シーズンは「平成17～18年シーズン」の第49週について早い時期に1.0を超えています。

なお、全国では調査開始以来(1987年以降)、最も早い流行開始となっています。

本シーズンのインフルエンザウイルスの検出状況をみると、本市ではB型 1例のみですが、全国では、A(H1)型が圧倒的に多くなっています。

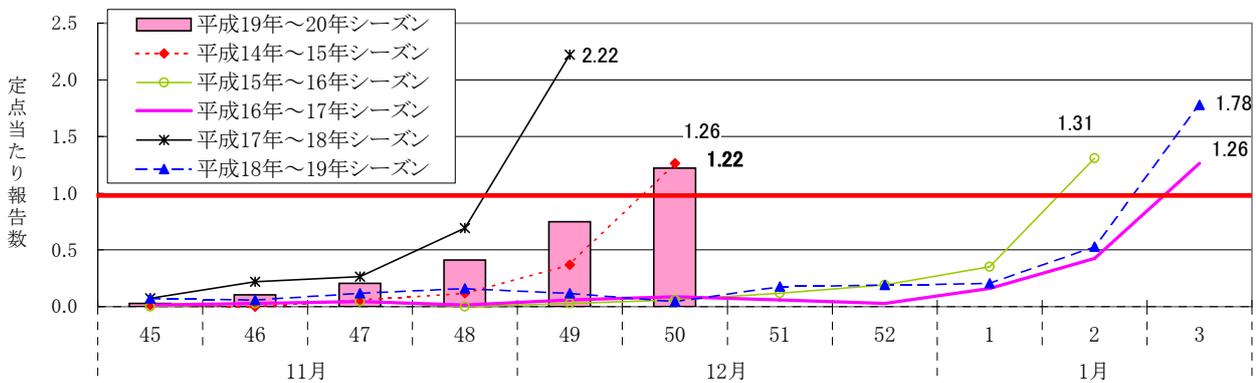
今後も引き続き増加が予想されますので、動向にご注意ください。

定点当たり報告数の推移



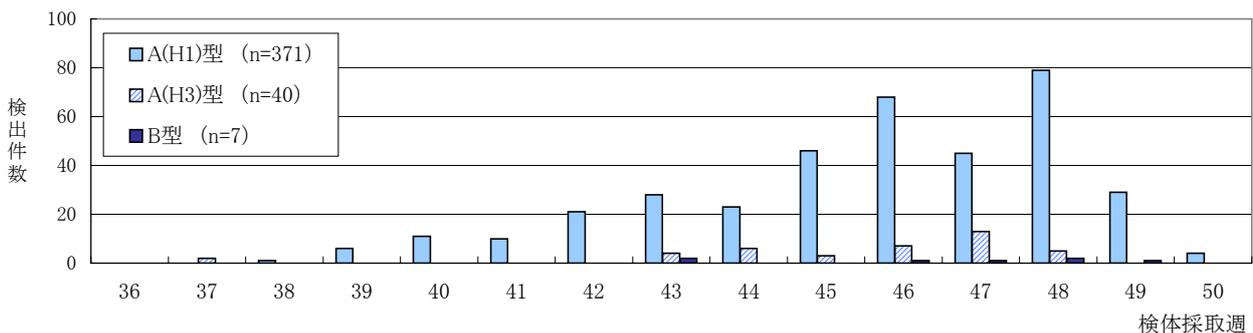
報告週・月

定点当たり報告数が1.0を越えた週の6シーズンの比較



報告週・月

全国の本シーズンのインフルエンザウイルス検出状況の推移



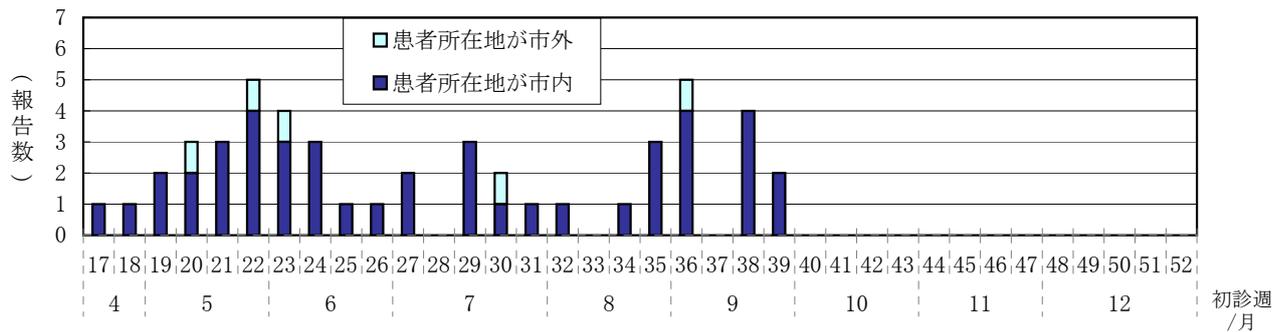
病原微生物検出情報(平成19年12月24日現在)より

京都市麻しん全数発生報告

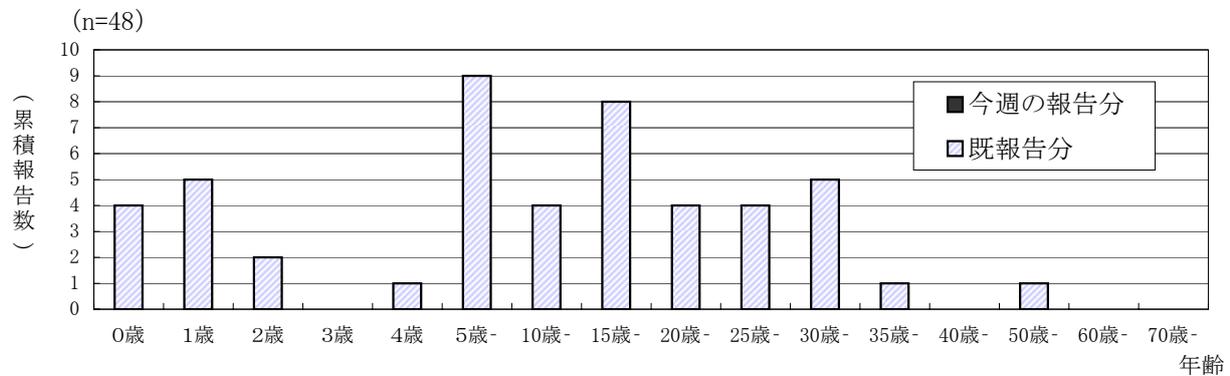
京都市独自の調査による、市内全医療機関を対象とした麻しん(成人麻しんを含む。)の報告数を掲載しています。5月25日から12月23日までの報告を初診週別に集計しています。(累積件数 48例)

1 患者所在地別推移

初診週別報告数の推移 (調査開始時～最新週まで)



2 年齢階級別



<参考> 感染症発生動向調査による定点医療機関からの報告数の推移

市内定点数:麻しん(小児科定点)41,成人麻しん(基幹定点)1

麻しん全数発生報告事業開始以前のデータについて、報告週別に集計したものを下記に掲載します。

・麻しん(15歳未満) 3例

・成人麻しん 0例

	第17週	第18週	第20週
報告数	1例	1例	1例
年齢階級	6ヶ月～11ヶ月	3歳	10～14歳

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第50週

疾病,保健所別報告数

平成19年12月10日～平成19年12月16日

データ入手日:平成19年12月21日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	17	8	-	-	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	3	2	-	-	13	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	2	21	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	3	-	-	4	42	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
東山	6	2	-	-	51	4	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	10	-	-	-	38	11	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	5	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	21	-	-	17	105	12	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	10	-	-	-	55	2	-	-	4	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
伏見	4	9	-	6	84	16	1	-	4	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	4	-	-	13	161	21	1	-	2	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	83	21	-	44	600	70	9	2	15	1	-	-	-	4	-	4	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは、鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	2.43	2.00	-	-	7.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	0.60	0.67	-	-	4.33	0.67	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	-	-	-	0.50	5.25	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	0.60	-	-	1.33	14.00	0.67	0.33	-	0.33	-	-	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
東山	2.00	1.00	-	-	25.50	2.00	1.00	0.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	1.43	-	-	-	9.50	2.75	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
下京	1.67	-	-	1.00	1.00	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	4.20	-	-	5.67	35.00	4.00	0.67	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	1.25	-	-	-	11.00	0.40	-	-	0.80	-	-	-	-	0.20	-	3.00	-	-	-	-	-	-
伏見	0.36	1.29	-	0.86	12.00	2.29	0.14	-	0.57	-	-	-	-	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-
西京	0.57	-	-	3.25	40.25	5.25	0.25	-	0.50	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	1.22	0.51	-	1.07	14.63	1.71	0.22	0.05	0.37	0.02	-	-	-	0.10	-	0.40	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは、鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第50週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年12月10日～平成19年12月16日

データ入手日:平成19年12月21日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	83	-	-	-	2	4	7	3	3	2	3	7	2	7	20	13	4	2	1	1	2
RSウイルス感染症		21	4	7	5	2	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		44	-	-	-	-	-	10	9	8	2	6	5	2	-	2	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		600	5	23	87	66	45	45	46	46	36	29	27	52	11	82	-	-	-	-	-	-
水痘		70	2	4	21	14	13	8	3	1	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		9	1	-	3	3	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		15	-	9	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		4	-	-	1	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは、鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	1.22	-	-	-	0.03	0.06	0.10	0.04	0.04	0.03	0.04	0.10	0.03	0.10	0.29	0.19	0.06	0.03	0.01	0.01	0.03
RSウイルス感染症		0.51	0.10	0.17	0.12	0.05	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1.07	-	-	-	-	-	0.24	0.22	0.20	0.05	0.15	0.12	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		14.63	0.12	0.56	2.12	1.61	1.10	1.10	1.12	1.12	0.88	0.71	0.66	1.27	0.27	2.00	-	-	-	-	-	-
水痘		1.71	0.05	0.10	0.51	0.34	0.32	0.20	0.07	0.02	-	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.22	0.02	-	0.07	0.07	-	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢3	0.05	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.37	-	0.22	0.15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.10	-	-	0.02	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.10	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは、鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第50週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年12月21日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	2	7	14	28	51	83
RSウイルス感染症	7	9	8	16	21	21
咽頭結膜熱	1	-	1	-	2	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	31	26	37	57	43	44
感染性胃腸炎	211	245	293	451	530	600
水痘	30	32	24	33	36	70
手足口病	11	14	6	13	11	9
伝染性紅斑	4	1	3	2	2	2
突発性発しん	17	17	8	11	23	15
百日咳	1	1	-	-	1	1
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	3	-	-	1	2	-
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	6	2	1	4	3	4
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	1	-
流行性角結膜炎	8	7	6	4	4	4
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	332	361	401	620	730	853

※ インフルエンザは、鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	0.03	0.10	0.21	0.41	0.75	1.22
RSウイルス感染症	0.17	0.22	0.20	0.39	0.51	0.51
咽頭結膜熱	0.02	-	0.02	-	0.05	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.76	0.63	0.90	1.39	1.05	1.07
感染性胃腸炎	5.15	5.98	7.15	11.00	12.93	14.63
水痘	0.73	0.78	0.59	0.80	0.88	1.71
手足口病	0.27	0.34	0.15	0.32	0.27	0.22
伝染性紅斑	0.10	0.02	0.07	0.05	0.05	0.05
突発性発しん	0.41	0.41	0.20	0.27	0.56	0.37
百日咳	0.02	0.02	-	-	0.02	0.02
風しん	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	0.07	-	-	0.02	0.05	-
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.15	0.05	0.02	0.10	0.07	0.10
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	0.10	-
流行性角結膜炎	0.80	0.70	0.60	0.40	0.40	0.40
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	8.68	9.27	10.10	15.15	17.69	20.30

※ インフルエンザは、鳥インフルエンザを除く。また、麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。